

KENTA Report

発行／秋田県議会議員 鈴木健太
〒010-0842 秋田市手形山北町 4-5
TEL 018-883-0605 FAX 018-838-0785

鈴木けんた 県政レポート 2016春号

http://suzuken-akita.com 鈴木けんた 検索



県議会の場に立たせていただいているから、まもなく1年。さらに政治や行政を学び、あと3年の任期でしっかりと秋田に「変化」をもたらせるよう努力してまいります。引き続きよろしくお願いたします。

鈴木けんた

自由民主党
秋田県秋田市第11支部
支部長



北海道東北議員交流会でも秋田の代表として発言！



山口県周南市、水素社会への取組を視察！



秋田内陸線の現場を視察！



雇用創出も「数」から「質」の段階へ

産業観光委員会での質問

県内の有効求人倍率は年々改善し、ついに昨年1.00を越えましたが、今は建設や運送など一部の業界で人手不足が深刻化するなど業種ごとのミスマッチが課題となっています。また企業誘致は雇用人数ベースでの成果が上がっているものの、先日訪問した誘致企業では、若年男子の多くが**低所得のために「結婚・出産」までは進めないという現実**がありました。県の誘致企業の追跡調査では所得レベルまで情報は収集しているのでしょうか。これから新規求職者も減っていくわけですから、雇用創出策を「数」一辺倒ではなく**所得水準などの「質」も重視**していく段階に来ているのではないのでしょうか。



成田や関空など国内ハブ空港との直行便を

決算特別委員会総括審査

秋田ソウル直行便は、韓国人乗客が増加しているにも関わらず、秋田からの日本人客の不足が大きな原因となりました。本県は人口102万人で**海外渡航率は全国最下位レベル**、秋田空港の立地からみて他県の利用客が期待できない以上、特定の国の特定の都市と直行便を結んだところで必ず「日本人乗客の不足」に直面するでしょう。一方**これからますます増加する外国人観光客**は、まず東京・京都・大阪の「ゴールデンルート」を訪問し、2回目以降に地方都市を選択する傾向があります。2020年に向けて大都市圏に外国人が増加していくことを考えると、多くの国際便が発着する**成田空港や関西国際空港などと秋田空港を結ぶ直行便の方が、より現実的なインバウンド振興策**だと思いますがいかがでしょうか。これは本県から海外各国へ出向く際の太い経路にもなりますので、「日本人乗客の不足」のリスクを局限することもできます。



県内大学生への交通支援を

産業観光委員会および議会外での提案

大学には県外・国外から多くの学生が集まっていますが、彼らと話す**「公共交通の便が悪すぎて県内を回れないので、秋田を知らないまま卒業してしまうことが多い」との声**をよく聞きます。せっかく何年も秋田で過ごす若者には、ぜひ県内を周遊してもらいフェイスブックなどのSNSで**県外・国外に秋田の魅力を発信**してほしい。そのために少なくとも郊外に立地する大学には、秋田駅までの直行バス便や、休日だけでもレンタカー利用料の助成などの**交通支援**をすべきではないでしょうか。不特定多数への広告よりも、知っている人の生の声の方が魅力が伝わりやすいと思います。

総括審査の報告について

3月16日の総括審査では、『次世代の公共交通戦略について』と題して、車を運転できない高齢者の増加を受け、既存のバス網を越える次世代の公共交通戦略の検討を始めるべきである等の発言をする予定でした。しかし直前に体調を崩してしまい、中止となってしまいました…まことに申し訳ございません。次の機会に必ず取り上げたいと思います。

あの話題、私はこう思う

県市連携文化施設

既存ニーズを満たすだけではなく、『稼げる施設』に。

建設場所について、大駐車場の取れる「郊外」をはじめ様々な意見がありますが、飲食店やホテルなどへの経済波及効果や千秋公園の静かな佇まいなどから、幅広く関係者の意向を聞いてみると意外に「**現在地建て替え**」案が多数意見となっています。そして何より、**中心市街地に建設**しなければ建設費の大部分を占める国の補助金を受けられないという財政的な理由があります。私も議員になって以来、昨年末に大規模イベント主催者向けに独自アンケートを実施するなど様々な情報に接した今、**現在地建て替え**か**選択肢**

はないのかな…と考えています。

ただこの財政状況で200億円を投じる以上、他県から多くのお客様を呼んで「稼げる施設」にしなければなりません。実は過去に、県民会館の旧式の舞台装置や搬出入の不便が理由で「こんな会場にはもう来ない」と大物アーティストに言われてしまったことは少なくないのです。これまで秋田で見られなかった一流の公演を実現するためにも、文化施設を所管する産業観光委員として、実際にイベント興業を行っている業者さんたちの生の声を届けてまいります。

外旭川イオン計画

「本当に他県から中長期的に誘客できるのか」で判断すべき。

人口減少により県経済の規模はどんどん縮小中。県内需要を吸いこむだけの商業施設ならば、3,000人と言われる（多くは非正規の）雇用創出の裏で地元事業者の仕事が失われるだけのことです。これでは長期的に秋田に富をもたらすことにならないでしょう。一方これが本当に隣県などから（高速道路で2時間以上かけても）お客様が集まり続けるような施設なのであれば、これは県経済の活性化に寄与するものとして歓迎すべきだと思います。ただしこれを認可

してしまえば秋田市の『中心市街地活性化計画』との不整合は避けられず、国からの大きな財政支援を受けられなくなることは覚悟しなければなりません。手詰まり感から「起爆剤」を求める気持ちは私にもありますが、秋田という町の10年・20年後の姿をしっかりとイメージし、そこにこの施設がどう位置付けられていくのかを戦略的に判断するべきではないでしょうか。



「健太を励ます会」で橋本五郎さんと対談（2016年2月14日）

